

私の歯科指導の考え方

遠矢由美子（ありた小児歯科医院）

当医院では、初診時に母親より問診、および聞き取り調査により子供の生活環境、家庭環境などの情報を集め、更に口腔内の状況を直接診査することにより子供の環境を推測し、その子供にそった指導と教育を行なっています。

永久歯のカリエスの管理にはブラッシング指導と食事指導のほかにフッ素洗口（ミラノール）とシーラントを応用して積極的に管理をおこなっています。

また、歯科の場合は多因子性の疾患がほとんどという状況に併せて、最近の小児歯科はカリエスの問題だけでなく、歯肉炎、不正咬合、さらには全身の問題を併せて取り扱うようになってきました。このようにひとり、ひとりの生活環境にあわせての指導、教育の必要性が大きくなっています。

今回はその中で比較的、原因が明らかで、当医院で対応が比較的定まっているカリエスについて指導内容を評価し、検討を加えたので報告します。

さらに私達が今後、健康管理をおこなって行く場合に、心理面を含めて子供達の状況把握をおこない、教育と指導をおこなう必要があります。今回、子供達の状況の違いをいくつかのパターンに分けて指導をおこない、その経過を追ったものも併せて報告します。

今後、小児歯科も口腔と全身、心理と歯科、個と集団、管理と教育というように多面的に見たなかで、指導を考える必要があると思います。